

秋田県の道路管理と観光地対策について ～冬期閉鎖路線における春山除雪の事例紹介～

乳根 達矢* 1

1. はじめに

秋田県は全国でも有数の豪雪県であり、豪雪地帯対策特別措置法に基づき、県内全域が豪雪地帯に指定されている。また、そのうち県内面積のほぼ半分となる13市町村ではさらに特別豪雪地帯の指定を受けており、冬期間の降積雪が道路交通や物資の輸送といった地域の生活や経済に大きく影響を及ぼしている。

特に降積雪の多い山間部や観光地の一部では、生活に影響の少ない路線や温泉等の冬期休業のため利用のない路線等について、冬期通行時の安全確保が困難であることや通年通行時の道路除雪費用のコスト縮減などの観点から、冬期閉鎖を実施している。

自然豊で山間部に温泉等の観光資源が豊富にある当県では、観光地へのアクセス道路や県境道路等について、一部区間を除き観光客の多くなるゴールデンウィーク前の早期開通を目標に春山除雪（ロータリ除雪車等による冬期閉鎖箇所の除雪作業、本来の自然消雪を待つよりも早く開通させることが可能）を実施している。

本稿では、観光地対策の一環として当県で実施している春山除雪の一部について紹介する。

2. 秋田県の気象特性と平成27年度の降積雪状況

秋田県は、東北地方の北西部に位置し、東西約70km、南北約170kmの長方形に近い形をしており、全国6位の面積を誇っている。県西部は日本海に面し、東部は南北に奥羽山脈が連なっており、冬季には日本海側からの湿った風が吹きみぞれや雪を降らせ、荒れた天気の日が多くなる典型的な日本海側気候となっている。

平成27年度の秋田県は少雪となり最大積雪深が県内49観測地点の全てで過去5カ年平均を下回り、県平均で91cm（過去5カ年平均149cm、0.61倍）であった。（図1平成27年度の最大積雪深、図2平成26年度と平成27年度の同地点状況比較）

また、累計積雪深については地域間で差がみられ、過去5カ年平均と比べ0.7倍～1.1倍であり、平均すると608cm（過去5カ年平均691cm、0.93倍）であった。

少雪の影響により、秋田県全体で平成27年度に道路除雪事業全体で要した費用は約37億円であり、これは過去5カ年平均と比べて約0.81倍（過去5カ年平均約45億円）と小さく、この過去5年間では最小の実績となった。

平成28年3月31日現在

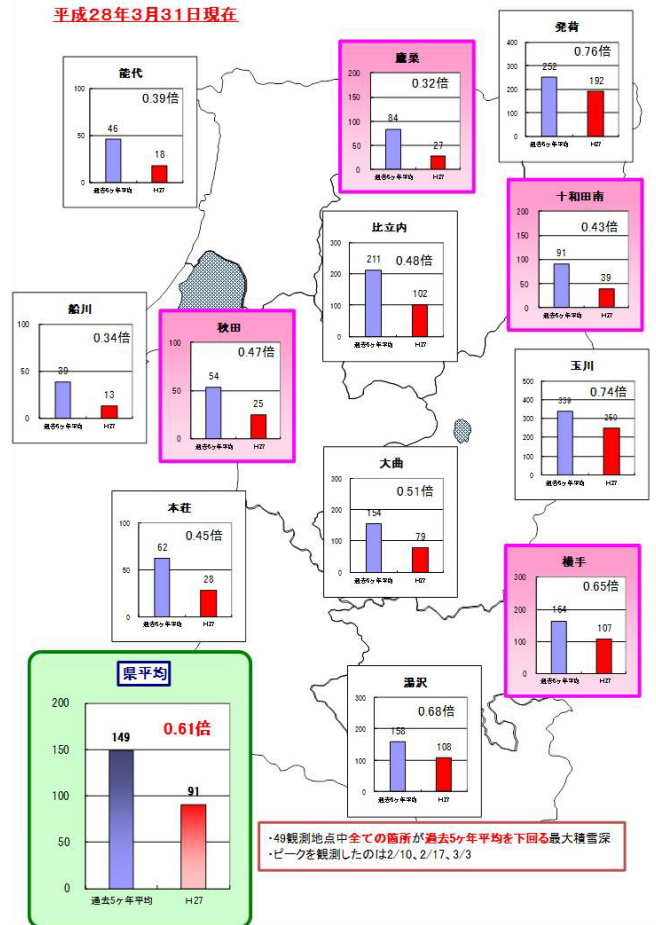


図1 平成27年度の最大積雪深



図2 平成26年度・27年度の同地点での積雪状況

3. 冬期閉鎖路線の概要

当県の管理道路について、47路線59区間約396kmについて冬期閉鎖を実施しており、そのうち観光地のアクセス道路や県境道路などを中心とした16路線20区間約131kmについて春山除雪を実施している。（春山除雪実施箇所以外は自然消雪にて対応）

春山除雪路線でゴールデンウィーク前の開通予定は13路線15区間約97kmである。

* 1 秋田県建設部道路課道路環境・維持班

4. 冬期閉鎖路線：八幡平アスピーテラインについて

大更八幡平線（通称：八幡平アスピーテライン）は、岩手県八幡平市と秋田県鹿角市を結ぶ延長L=47.2km（うち秋田L=16.0km、岩手L=31.2km）の県道で、十和田八幡平国立公園を東西へ横断する路線である。県境は標高約1600mの八幡平頂上付近にあり、例年11月から4月までの期間にわたって冬期通行止めとなる。また、冬期閉鎖解除後も降積雪や路面凍結等の影響のため、しばらくの間夜間通行止めとなっている。（図3参照）



図3. 八幡平アスピーテライン位置図

春山除雪は3月中旬から4月中旬にかけて八幡平山頂部の6mにもおよぶ積雪をバックホウやロータリーといった建設機械で掘り進めることで行われる。作業の結果形成される“雪の回廊”が有名で、ゴールデンウィーク時には多くの観光客らが訪れることで知られている。（図4参照）

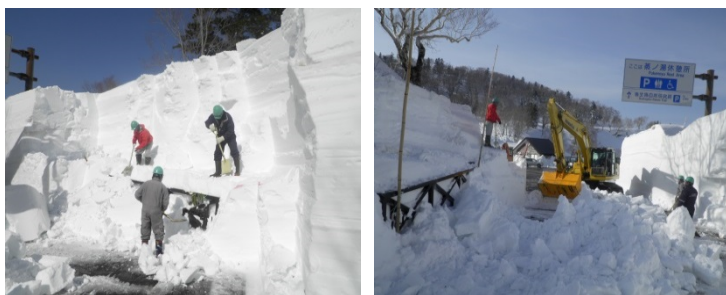


図4. 春山除雪作業（冬期閉鎖ゲート付近取り掛かり時）

開通時には、秋田・岩手両側で式典が行われるが、本年は悪天候のため当日の全線開通は持ち越しとなった。



図5. アスピーテライン開通式
引用文献：2016年4月16日発行
秋田さきがけ新聞記事より引用

5. 冬期閉鎖路線：鳥海ブルーラインについて

鳥海公園小滝線は、山形県境からにかほ市象潟を結ぶ延長L=17.7kmの県道であり、鳥海山から北西方向に下る路線である。本路線と交点である山形県道鳥海公園吹浦線とをあわせて、“鳥海ブルーライン”の通称で呼ばれている。本路線もアスピーテラインと同様に、例年11月から4月までの期間にわたって冬期通行止めとなり、開通後もしばらくの間夜間通行止めの対応をしている。（図6参照）



図6. 鳥海ブルーライン位置図

当該路線は、秋田・山形両県に跨る鳥海山へ続く観光路線であり、5合目まで本路線で登ることができるため、観光シーズンには多くの登山客が訪れる。また、道路上からは鳥海山の風景に加え、遠く日本海の景色を望むことができるため、一般観光客も多く訪れる県内有数の観光路線である。本路線でも、3月中旬から4月下旬にかけて高さ5mにもおよぶ積雪に対して春山除雪が行われており、除雪後の路線からは“雪の回廊”が堪能できる。（図7参照）



図7. 春山除雪作業（ロータリー除雪車）

閉鎖解除時には、秋田・山形で開通の式典が催され、同時に鳥海山の山開きも行われるため、多くの観光客が訪れる。



図8. 鳥海山山開き